



2019年12月25日

各 位

会 社 名 日本ファイルコン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 名倉 宏之
 (東証第一部・コード番号 5942)
 問合せ先 常務取締役 管理・経営企画管掌
 兼管理本部長兼経営企画室長
 齋藤 芳治
 (TEL 042-377-5711)

特別損失の計上(減損損失の計上)および、2019年11月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年10月1日に発表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

記

1. 2019年11月期通期連結業績予想数値の修正

(2018年12月1日～2019年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,600	425	650	250	11.56
今回修正予想 (B)	24,700	625	725	△ 250	△ 11.57
増 減 額 (B-A)	100	200	75	△ 500	—
増 減 率 (%)	0.4%	47.1%	11.5%	—	—
(ご参考)前期実績 (2018年11月期)	27,054	1,356	1,655	917	41.90

2. 修正の理由

2019年11月期の当社グループの業績につきましては、営業利益が前回発表予想を上回る見込みとなりました。主として経費削減に努めたことや、一部の連結子会社で退職給付費用の算定に簡便法を採用しており、年金資産の運用が好調に推移し、退職給付費用が減少したことなどによるものです。

一方で、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表予想を下回る見込みとなりました。こちらは、当連結会計年度末に電子部材・フォトマスク事業におきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の収益見込み等を現在の事業環境を踏まえて保守的に見積り、回収可能性を慎重に検討した結果、帳簿価額を回収可能額まで減額し、連結会計年度累計で減損損失として1,027百万円を計上する見込みであるためです。

(注)上記の予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上